

令和元年度公益財団法人栃木県消防協会事業報告書

1 会議の開催

協会の事業及び運営等について協議するため、次の会議を開催した。

(1) 理事会

ア 第1回 ☆期日 令和元年5月10日(金) ☆場所 栃木県職員会館ニューみくら

[議案]

- ① 平成30年度公益財団法人栃木県消防協会事業報告について
- ② 平成30年度公益財団法人栃木県消防協会収支決算について
- ③ 公益財団法人栃木県消防協会顧問及び常任顧問について
- ④ 令和元年度定時評議員会の開催について
- ⑤ 公益財団法人栃木県消防協会事務局長の選任について

[協議事項]

- ① 令和元年度年間行事予定及び役割分担について
- ② 令和元年度消防団長等研修会の開催について
- ③ 日消会長、県協会長表彰について

イ 臨時 ☆期日 令和元年5月28日(火) ☆場所 栃木県消防学校

[議案]

- ① 公益財団法人栃木県消防協会の会長並びに副会長及び専務理事の選任について

ウ 第2回 ☆期日 令和元年11月19日(火) ☆場所 栃木県消防学校

[報告事項]

- ① 令和元年度前半の公益財団法人栃木県消防協会業務の執行状況について

[協議事項]

- ① 令和元年度後半の公益財団法人栃木県消防協会の行事予定について
- ② 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会事業計画の基本的な考え方について
- ③ 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会予算の基本的な考え方について
- ④ 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会年間行事予定(案)について

エ 第3回 ☆期日 令和2年3月13日(火) ☆場所 栃木県消防学校

[議案]

- ① 令和元年度公益財団法人栃木県消防協会収支予算の補正について
- ② 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会事業計画について
- ③ 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会収支予算について
- ④ 評議員会の開催について

(2) 評議員会

ア 第1回 ☆期日 令和元年5月28日(火) ☆場所 栃木県消防学校

[議案]

- ① 平成30年度公益財団法人栃木県消防協会事業報告について
- ② 平成30年度公益財団法人栃木県消防協会収支決算について
- ③ 公益財団法人栃木県消防協会役員の選任(一斉改選)について
- ④ 公益財団法人栃木県消防協会顧問及び常任顧問について
- ⑤ 公益財団法人栃木県消防協会評議員の選任(補充)について

イ 第2回 ☆期日 令和2年3月23日(月) ☆場所 栃木県消防学校

[議案]

- ① 令和元年度公益財団法人栃木県消防協会収支予算の補正について
- ② 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会事業計画について
- ③ 令和2年度公益財団法人栃木県消防協会収支予算について

(3) 監査会

平成30年度の事業執行状況及び諸会計の決算について監査を実施した。

☆期日 平成31年4月26日(金) ☆場所 栃木県消防学校

(4) 栃木県消防連絡協議会

協会と各支部との協力・連携について協議を行った。

☆期日 令和元年5月10日(金) ☆場所 栃木県職員会館ニューみくら

(5) 支部主任者会議

理事会前に、議案及び協会の課題等について各支部主任者による協議・検討を行った。

ア 第1回 ☆期日 平成31年4月23日(火) ☆場所 栃木県消防学校

イ 第2回 ☆期日 令和元年11月7日(木) ☆場所 栃木県消防学校

ウ 第3回 ☆期日 令和2年3月5日(火) ☆場所 ホテル丸治

2 全国及び関東甲信地区消防協会等との連携

消防防災に関する調査研究や研修を行い、統一的な共同体制を構築するため、各種会議に参加した。

(1) 日本消防協会役員会

期日 令和元年6月14日(金) 臨時理事会・定時評議員会 ☆場所 日本消防協会

期日 令和元年9月12日(木) 臨時理事会 ☆場所 日本消防協会

期日 令和2年3月3日(火) 理事会・評議員会 ☆場所 日本消防協会

(2) 関東甲信地区消防協会会議

期日 令和元年6月6日(木)～7日(金) ☆場所 茨城県土浦市

(3) 全国(ブロック別)実務担当者会議

期日 令和元年7月2日(火)～3日(水) ☆場所 長野県長野市

(4) 関東甲信地区事務局長会議

期日 令和元年12月4日(水)～12月5日(木) ☆場所 埼玉県さいたま市

(5) 栃木県消防長会定例協議会

期日 平成31年4月19日(金)

☆場所 さくら市

期日 令和元年8月26日(月)

☆場所 宇都宮市

期日 令和2年1月17日(金)

☆場所 那須烏山市

3 普及啓発事業

水・火災の予防思想の普及徹底を図るとともに、災害防ぎょ活動の強化に資するため、各種事業を実施した。また、消防団員等の功績者等を表彰し、士気の高揚を図った。

(1) 栃木県消防大会

消防団員等の士気の高揚と団結力の強化を図るとともに、消防防災思想の高揚を期するため開催した。

・期日 令和元年10月4日(金)

・場所 宇都宮市文化会館 小ホール

・参加者 約450名

① 知事表彰

消防関係功労者 321名(団員 251名 吏員 70名)

② 県協会長表彰

消防団員等の日頃の活動に報いるため、功績者・永年勤続者等を表彰した。

また、退任役員に対しては、その功労に謝意を表するため、感謝状を贈呈した。

・表彰の種類

ア 優良消防機関 18団

イ 功績のあった者 50名

ウ 永年勤続者 1, 728名

エ 消防団員配偶者等 35名

オ 親子消防団員 21組

カ 夫婦消防団員 2組

・感謝状贈呈対象者

ア 退任役員 8名

イ 消防学校派遣職員 1名(退任時)

ウ 日本消防協会派遣職員 1名(派遣復帰時)

合計 18団、1, 823名 23組

(2) 日本消防協会定例表彰

ア 優良消防団(表彰旗) 矢板市消防団

イ 優良消防団(竿頭綬) 宇都宮市消防団・日光市今市消防団・野木町消防団

ウ 優良婦人消防隊(表彰旗) 鹿沼市女性消防隊

エ	優良婦人消防隊員（功績章）	茂木町婦人防火クラブ連合会会長	高根澤	光子
オ	功績章	足利市消防団長	小宮	文雄 他 17 名
カ	精積章	芳賀町消防団長	齋藤	友和 他 40 名
キ	勤続章	益子町消防団長	豊田	英雄 他 88 名

（３）栃木県消防殉職者等慰霊祭の執行

消防殉職者等 81 柱の御霊を慰め、郷土の防火・防災への誓いを新たにするため慰霊祭を予定していたが、本県を含む全国に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風の影響により中止することとした。

（４）全国消防殉職者慰霊祭への参加

日本消防協会が主催する全国消防殉職者慰霊祭に遺族の参加を募り、参加した。

- ・期 日 令和元年 9 月 12 日（木）
- ・場 所 日本消防会館 ニッショーホール
- ・参加者 約 700 名 （本県遺族 3 名）

（５）防災思想普及事業

ア 消防庁及び日本消防協会が行う火災予防運動に呼応して、小学 4 年生から中学 3 年生を対象にポスター、作文の募集をするなど防災思想の普及高揚を行った。

イ 日本消防協会発行の機関誌を購入し、各消防団に配付した。

- ・「日本消防」 毎月 100 部
- ・「守れわがまち」 年 600 部

ウ 消防関係機関誌で消防団及び団員の活動を紹介した。

- ・「日本消防」 4 月号 （小山市消防団、芳賀町消防団）
- ・「日本消防」 6 月号 （日光市今市消防団、那珂川町消防団）
- ・「日本消防」 8 月号 （足利市消防団）
- ・「日本消防」 12 月号 （益子町消防団）
- ・「日本消防」 3 月号 （宇都宮市消防団、那須町消防団）
- ・「いきいき消防」夏季号（芳賀町消防団）
- ・「新時代に対応した消防団活動事例集」2019 版（佐野市消防団、足利市消防団）

エ ラジオ番組で地域に密着した団員の活動を紹介した。

- ・「おはよう！ニッポン全国消防団」6 月 30 日（市貝町消防団）
- ・「おはよう！ニッポン全国消防団」8 月 4 日（鹿沼市消防団）

オ 栃木県からの委託に基づき消防団応援の店制度の普及を図った。

- ・消防団応援の店 利用証の作成・配付
- ・消防団応援の店 表示証の作成・配付
- ・会議等において消防団応援の店制度や募集について周知

カ テレビ番組を制作、放映した。

- ・放送媒体 とちぎテレビ
- ・放送日 令和2年3月14日（土）及び3月15日（日）（10分番組）
- ・内容 「強さと優しさを胸に秘めて ～ 私たち女性消防団 ～」
 - * 第24回全国女性消防操法大会出場チーム隊員インタビュー
 - * 宇都宮市消防団まつり
 - * 女性消防団員活性化研修会の様子 など

（6）消防点検及び防災訓練への参加

県及び真岡市が主催した「栃木県総合防災訓練」（9月1日開催）に参加するとともに、各市町が行う出初式に役員を派遣し、住民の消防・防災意識の高揚を図った。

（7）消防関係団体の育成

婦人防火クラブ連合会等が行う研修事業に対し、助成した。

4 教育指導事業

県民の生命・身体・財産を守るため、消防団員及び消防職員の知識・技術の向上及び士気の高揚を図るため、各種研修事業等を実施した。

（1）消防団長等研修会

消防職・団員のトップリーダーを対象に消防団長等研修会（トップセミナー）を開催し、消防団を巡る諸課題を研究協議した。

- ・期 日 令和元年6月27日（木）～28日（金）
- ・場 所 鬼怒川 ホテル 三日月
- ・講 師 栃木県県民生活部 危機管理監 松村 誠 氏
「栃木県の危機管理」
- ・参加者 160名

（2）消防職・団員幹部研修会

消防司令以上及び消防団分団長以上の職にある者を対象に研修会を開催し、士気の高揚と団結強化を図り、消防体制の充実を期した。

- ・期 日 令和元年10月4日（金）
- ・場 所 宇都宮市文化会館 小ホール
- ・講 師 東京大学大学院准教授 廣井 悠 氏
「これからの都市防災」
- ・参加者 約247名

（3）消防団員指導者研修会

分団長又は部長の職にある者を対象に、自主防災組織等に対し指導的役割を果たせるリーダーを養成するための研修会を開催した。

- ・期 日 令和2年1月25日（土）
- ・場 所 大田原消防署
- ・講 師 国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課 課長補佐 菅原寛明 氏

「土砂災害に備えて」

- ・参加者 県北地区の3支部 97名

(4) 消防団員指導員養成研修会

地域防災の要である消防団の充実強化のため、消防団員指導員を養成する研修会を開催した。

なお、受講生には、日本消防協会から修了証及び指導員章が授与された。

- ・期 日 令和2年1月9日(木)～10日(金)
- ・場 所 栃木県消防学校
- ・講 師 協会会長、県消防学校教官、県防災担当課及び宇都宮市消防局職員
- ・参加者 各地区の分団長など36名

(5) 消防団実務担当者研修会

市町の消防団実務担当者を対象に研修会を開催し、消防団員の福祉向上のための共済事務の適正な執行に寄与した。

- ・期 日 令和元年6月11日(火)
- ・場 所 栃木県自治会館
- ・講 師 日本消防協会担当者(個人年金、福祉共済、火災共済)
- ・参加者 31名

(6) 女性消防団員活性化研修会

女性消防団員の活動の一層の活性化に向け、女性消防団員の日頃の活動状況や課題等について情報交換するとともに、避難所運営に関する演習等を行った。

- ・期 日 令和2年2月20日(木)
- ・場 所 栃木県消防学校
- ・内 容 講演「ボランティア活動のポイントや注意点」
講師 宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター
中山淳子氏 佐竹一輝氏
避難所運営ゲーム
- ・参加者 14消防団から58名

(7) 消防団幹部特別研修への派遣

日本消防協会が主催する研修会に適任者を派遣し、消防団の活性化を図った。

ア 消防団幹部特別研修

- ・期 日 令和2年1月21日(火)～24日(金)
- ・場 所 日本消防協会
- ・参加者 足利支部(足利市消防団) 1名

イ 消防団幹部候補中央特別研修(男)

- ・期 日 令和2年2月5日(水)～2月7日(金)
- ・場 所 日本消防協会
- ・参加者 佐野支部(佐野市消防団)、足利支部(足利市消防団)、河宇支部(宇都宮市消防団) 各1名

ウ 消防団幹部候補中央特別研修（女）

- ・期 日 令和2年2月19日（水）～21日（金）
- ・場 所 日本消防協会
- ・参加者 上都賀支部（鹿沼市消防団） 2名

（8）自主防災組織リーダー養成研修会（栃木県との共催）

自主防災組織において指導的立場にある者を対象として、組織の活性化のために活躍できる「人」及び「組織」づくりを積極的に推進できる人材の養成を目的として開催した。

第1回 令和元年10月9日（水）～10日（木）

栃木県塩谷庁舎 401／402会議室 実人員20名

第2回 令和元年10月24日（木）～25日（金）

栃木県庁北別館 402会議室 実人員34名

第3回 令和元年10月28日（月）～29日（火）

栃木市役所 3階正庁AB 実人員32名

（9）栃木県消防救助技術大会（栃木県、栃木県消防長会との共催）

消防職員の人命救助技術の向上と防災連帯意識の高揚を図るため開催し、負担金を支出した。

- ・期 日 令和元年6月12日（水）
- ・場 所 栃木県消防学校
- ・参加者 695名

（10）消防操法指導者研修会

消防団員の操法訓練等を指導する各消防本部（局）の職員に対し、消防操法技術及び指導に当たっての重要な視点等について指導し、団員の消防操法技術の向上を図った。

- ・期 日 令和2年3月10日（火）
- ・場 所 栃木県消防学校
- ・講 師 協会、各消防本部職員及び栃木県消防学校職員
- ・展示協力者 益子町消防団及びさくら市消防団
- ・参加者 35名

（11）全国女性消防操法大会への参加

消防庁及び日本消防協会が主催する「全国女性消防操法大会」へ、真岡市女性消防隊を派遣した。

- ・期 日 令和元年11月13日（水）
- ・場 所 神奈川県横浜赤レンガ倉庫イベント広場
- ☆成 績 総合得点 76.5点
タイム 58.65秒

（12）全国女性消防団員活性化青森大会への参加

消防庁及び日本消防協会が主催する「第25回全国女性消防団員活性化青森大会」に、県内の女性消防団員から参加を募り、参加した。

- ・期 日 令和元年9月19日（木）～20日（金）
- ・場 所 青森県青森市 マエダアリーナ
- ・参加者 約2,600名（本県関係者：4消防団 28名）

5 消防団員福利事業

日本消防協会が行っている消防団員のための福祉共済制度について、加入促進を図るとともに、制度の適正な執行を行った。

- （1）福祉共済制度（加入者数 12,168名 支給 40件 8,459,500円）
- （2）火災共済制度（加入者数 5,821名 支給 15件 645,000円）
- （3）消防個人年金制度（加入者数 153名 加入率 0.9%）
- （4）健康増進事業
 - ・福祉共済加入団体が対象
 - ・加入者数に応じ、配分額が決定される。（令和元年度 約120万4千円）
 - ・主な配付物品

使い捨て式防塵マスク（10枚入り）	325個
オムロン血圧計	1個

6 消防殉職者等救慰事業

- （1）栃木県消防長会から河宇支部長を通じて弔慰金の申請があったので、消防殉職者等救慰金規程第5条第2項の規定に基づき、次のとおり給付した。
 - ・給付対象者 東京消防庁の殉職者
 - ・給付額 10万円
- （2）令和元年東日本台風により被災した消防団員に見舞金を給付した。

☆ 被災者	14消防団	347名	（354件）
☆ 金 額	1,809,000円		
	全 壊	@30,000円	× 2名
	床上浸水	@10,000円	× 99名
	床下浸水	@ 3,000円	× 106名
	自家用車	@ 3,000円	× 140名（147台）